

プロダクトガバナンス方針

1. 基本理念

当社は、経営理念である「クライアント・ファースト」のもと、「一人ひとりの『生きる』を支える資産形成パートナー」をビジョンに掲げ、「人生 100 年時代を迎え、資産運用業を通じて、社会課題の解決に貢献する会社、お客様の『生きる』を支え続ける会社」を目指しています。

お客様の長期的な資産形成を最優先に考えた商品とサービスの提供に向けて、商品の企画・開発から運用・管理、情報開示に至るプロセスにおいて、お客様の視点を最優先にプロダクトガバナンスの取組みを実践します。

2. プロダクトガバナンス体制

当社は、プロダクトガバナンスの実効性を確保するため、代表取締役社長をはじめとする経営陣が参加する会議体での審議等を通じ、商品のライフサイクル全体にわたるプロダクトガバナンスの徹底に取り組んでいます。

新商品の開発にあたっては、経営陣ならびに運用部門、リスク管理部門、商品部門等を構成メンバーとする「商品開発委員会」にて投資対象の適切性や運用報酬の適切性等を踏まえた審議を行っています。

商品の提供後は、経営陣ならびに運用部門、リスク管理部門、商品部門等を構成メンバーとする「パフォーマンスレビュー委員会」において、コスト控除後のパフォーマンスが芳しくないファンドや残高が低迷しているファンドに対する原因分析や対応の検討を進めていきます。

3. 商品開発時の取組

当社は、お客様のニーズや資産運用における課題を踏まえた上で、中長期的な視点から商品の持続可能性、リスク・リターン水準、および運用報酬の適切性等を検証するとともに、販売対象として適切な想定顧客属性を特定のうえで商品の組成を行います。あわせて、商品の適切な提供の実現に向けて、販売会社との情報連携につとめます。

4. 商品提供後の取組

当社は、組成した商品の運用状況を定期的に検証します。検証の結果、改善を要すると判断した商品については、必要に応じて、運用改善・モニタリングの継続、商品性の変更、報酬率見直し、償還等の対応を検討します。

また、販売会社との情報連携等を通じて、プロダクト組成時に想定したお客様属性と商品性の整合状況を検証し、検証結果を商品提供や商品組成の改善に活かしてまいります。

5. 情報提供

当社は、お客様がより良い金融商品を選択できるよう、運用体制やプロダクトの特性、プロダクトガバナンス体制等について、分かりやすい情報提供につとめるとともに、運用状況やパフォーマンス実績等に関する適切な情報開示を実施してまいります。